

特定非営利活動法人宇都宮まちづくり推進機構 中期経営計画評価表（平成29年度実績）

平成30年4月1日現在

I 組織の概要

1. 基礎情報

所在地	宇都宮市中央3丁目1番4号 栃木県産業会館2階		設立年月	平成11年10月（任意団体設立） 平成21年9月（NPO法人化）	
市所管課	総合政策部 地域政策室		代表者	須賀 英之	
ホームページアドレス	http://www.machidukuri.org/				
基本財産（資本金）	—	主な出資者		出資額	出資割合
	—	—		—	—
	—	—		—	—
市出資額	—	—		—	—
市出資割合	—	—		—	—
設立目的等	公共団体と民間団体が連携して宇都宮のまちづくりに取り組むための中核的な組織として、魅力ある中心市街地の形成を図ることで、宇都宮の将来の発展に寄与することを目的とする。				
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> 魅力ある中心市街地の形成に向けた事業 中心市街地としての都市拠点の機能向上に向けた事業 中心市街地の賑わい創出に向けた事業 中心市街地の整備改善に関する事業 				
公益目的事業比率 （公益法人のみ）	—				

2. 組織・人員情報

役職員数	役員				職員					
	常勤	理事	1	うち市OB 1	正規職員等			嘱託・臨時職員等		
					再雇用職員 （フルタイム）	0	理事との 兼務 0	嘱託職員	0	うち市OB 0
非常勤	理事	17	1	派遣等 職員	市 1	0	臨時職員等 （アルバイト等 含む）	1	0	
	市以外	1	0	市OB職員	2	1				
計		20	2	計	4	1	計	1	0	
役員の平均年齢（歳）	60.7	役員の平均年収（千円）		—	情報公開制度の有無			0		
職員の平均年齢（歳）	57.8	職員の平均年収（千円）		5,159	個人情報保護体制の有無			0		

3. 財務状況

単位（千円）

【貸借対照表】	27年度決算	28年度決算	29年度決算	備考
資産	16,005	15,809	22,596	
負債	2,601	1,542	2,922	
（うち損失補償等額）	0	0	0	
純資産	13,404	14,267	19,674	
（うち利益剰余金）	5,314	4,716	11,622	

※一般財団等は、純資産を正味財産合計、利益剰余金を一般正味財産として読み替えています。

【損益計算書】	27年度決算	28年度決算	29年度決算	備考
総収入	27,218	27,897	34,851	
（うち市補助金等）	17,593	17,674	20,674	※29年度は、補助金とは別にイエローフィッシュリニューアル交付金 2,500千円を交付
（うち市委託料等）	0	0	0	
経常損益	1,468	1,126	1,661	
当期損益	1,275	△ 599	6,906	

※一般財団等は、損益計算書を正味財産増減計算書、経常損益を当期経常増減額、当期損益を当期一般正味財産増減額として読み替えています。

【宇都宮まちづくり推進機構】

Ⅱ 各項目の取組状況

1. 事業の充実・重点化

No	取組項目	目標	基準値	実績値			
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
1	中心市街地活性化事業の充実	平成31年度中 2事業	1事業	1事業	1事業	2事業	
2	事業協賛金の拡充	平成31年度末 7,000千円	5,000千円	4,640千円	4,006千円	4,148千円	

2. 地域における公益的活動の推進

No	取組項目	目標	基準値	実績値			
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
3	地域連携事業の拡充	平成31年度中 4事業	2事業	2事業	3事業	3事業	

3. 健全経営の維持と経営の更なる改善

No	取組項目	目標	基準値	実績値			
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
4 (共)	市からの補助金・負担金の適正化	職員の適正配置等を踏まえた補助金の適正化	17,549千円	17,593千円	17,674千円	18,174千円	
5	新規会員の獲得	平成31年度末 150会員	128会員	145会員	139会員	145会員	

4. 組織・人員体制の強化

No	取組項目	目標	基準値	実績値			
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
6 (共)	常勤役職員数の適正化	継続的な見直し	市OB職員2名	市OB職員2名	市OB職員2名	市OB職員2名	

5. その他

No	取組項目	目標	基準値	実績値			
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
7	情報提供の充実	新たな媒体による情報の提供	機構HP	実施	実施	実施	

Ⅲ 総合評価

<p>団体による 自己評価</p>	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中心市街地活性化事業の充実については、平成29年度は「宇都宮市都市計画等基礎データ収集業務」を早稲田大学より受託し、事業収益を確保した。 ・ 事業協賛金の拡充については、対象事業の経常化により減少傾向にあったが、平成29年度の事業として実施した宇都宮江戸時代歩き地図の作成にあたり、事業を会員に広く周知することにより、協賛額の増額に努めた。 ・ 地域連携事業の拡充については、かまがわ川床桜まつり事業やイルミネーション事業における他地域団体との連携事業を実施したほか、新たにオープンカフェ事業の本格実施に伴う、商店街や連合自治会、高等学校と連携した、オリオン通りにおける「押しチャリ」実施など、地域連携事業を実施した。 ・ 市からの補助金・負担金の適正化については、補助金を効果的に活用するため、各種事業の実施における協賛金の確保にも取り組んだ。 ・ 新規会員の獲得については、会員の確保・増強に向けた強化月間を設定し、会員数及び会費収入の増加を図った。 ・ 常勤役職員数の適正化に関しては、適切な組織体制を確立するため、既存事業の見直しや更なる業務の効率化などを進めた。 ・ 情報提供の充実については、機構ホームページのほかに、フェイスブック等の新たな情報提供媒体を活用し、事業活動の周知や中心市街地に来訪するための魅力の発信に取り組んだ。 <p>いずれの取組についても概ね順調に進行しているが、自立的・安定的な経営基盤を確保するため、今後とも自主財源の更なる確保を図るとともに、事業体制の効率化を推進しながら、中心市街地の活性化に向けた効果的な事業展開をしていく。</p> <p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自立的・安定的な経営基盤の確立 ・ 会員数の確保及び協賛事業の拡充 ・ 新たな収益事業の発掘 ・ 魅力ある中心市街地の形成に向けた事業の充実・強化
<p>所管課による 評価</p>	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中心市街地活性化事業の充実については、旧公益質屋活用事業以降、新たな事業の創出に至っていないところであるが、平成29年度は、これまで部会活動等において連携を図ってきた早稲田大学より、市内の都市計画等基礎データの収集業務を受託し、事業収益を確保した。今後とも、オープンカフェなどの既存事業の拡充による収益確保等や新たな収益事業の創出を検討していく必要がある。 ・ また、事業実施の際には、積極的に協賛金を募るなどしているところであるが、毎年同様の事業の実施となると協賛者の負担もあることから、事業協賛金の募集にあたっては、事業の改善点や充実させた内容等を明確にするとともに、協賛者のメリットとなるような広報等を工夫する必要がある。 ・ 地域連携事業の拡充については、釜川などのイベント事業において、近隣の店舗や小学校などと連携して事業を実施しているほか、オープンカフェ事業においても商店街等の連携は必須となっている。引き続き、様々な団体等と連携し、働きかけを行いながら、まちづくり活動への参画を促進し、まちづくりの担い手の育成に繋がる取組を推進していくことが期待される。 ・ 市からの補助金・負担金については、平成29年度に実施した、オープンカフェやまちづくり交流拠点「イエローフィッシュ」の活用事業など、事業の拡充に合わせて、補助額を増額しているところであり、今後とも、事業実施にあたっては、引き続き協賛金の確保や既存事業の見直しなど更なる業務の効率化に努め、健全な事業運営が求められる。 ・ 新規会員の獲得に向けては、平成27年度からの強化月間の取組により増加傾向にあるが、新規会員の獲得は、会費収入はもとより、組織の体制基盤強化の面からも、まちづくりの担い手となる各事業の活動主体の増強に繋がることから、引き続き、積極的な勧誘を行っていく必要がある。 ・ 常勤役職員数の適正化については、引き続き、適切な組織体制の確立に向け、既存事業の見直しと更なる業務効率の向上に努める必要がある。 ・ 情報提供の充実については、ホームページのほかに、フェイスブック等のSNSによる情報発信に努めているところであり、引き続き、自らの活動の発信はもとより、関連するまちづくり活動団体の活動も発信するなどして、団体間の連携を強化し、まちづくり活動の支援に繋がるような効果的な発信に努めることが期待される。 ・ 今後とも、自立的・安定的な経営基盤の確立に向け、自主財源の確保に努めつつ、経営改善を進めていくことが求められる。 <p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自立的・安定的な経営基盤の確立 ・ 経営基盤を確立するための新たな収益事業の発掘 ・ 事業の円滑な推進に向けた会員の確保